

第4回敦賀国際エネルギーフォーラムの実施結果について

平成 16 年 5 月 18 日
核燃料サイクル開発機構

1. フォーラムの目的

敦賀国際エネルギーフォーラムは、機構が、平成 11 年以来、1 年半～2 年ごとに敦賀市で開催してきた国際会議である。

今回のフォーラムでは、「日本のエネルギー政策と国際協調について」をテーマとし、各国の 21 世紀におけるエネルギー政策と原子力の展望の紹介を受け、世界の高速炉開発のために「もんじゅ」が果たすべき国際的役割についての具体的な提案、並びに「もんじゅ」を中心に福井県にある各原子力関係機関を地域の技術発展の拠点として活用していくための提言をいただくことを目的として、国際的な講演や討論を行った。

2. フォーラムの概要

(1) 日時

平成 16 年 4 月 26 日 (月) 10:30～18:00 (1 日目)
平成 16 年 4 月 27 日 (火) 9:00～15:50 (2 日目)
平成 16 年 4 月 28 日 (水) 9:30～14:40 (ふげん・もんじゅ見学会)

(2) 場所

福井県若狭湾エネルギー研究センター

(3) 主催等

主催：核燃料サイクル開発機構

後援：原子力委員会、文部科学省、経済産業省、(社)日本原子力産業会議、(社)日本原子力学会、(社)日本機械学会、(社)電気学会、電気事業連合会、エネルギー・資源学会、福井県経済団体連合会、敦賀商工会議所、福井県環境・エネルギー懇話会、福井大学、福井大学地域共同研究センター、福井工業大学、福井工業大学産学共同研究センター、敦賀学園 敦賀短期大学、敦賀学園 地域交流センター

(4) 参加者 (会場 (ホール) 定員 : 350 名)

平成 16 年 4 月 26 日 (月) : 約 670 名
平成 16 年 4 月 27 日 (火) : 約 510 名
平成 16 年 4 月 28 日 (水) : 18 名 (ふげん・もんじゅ見学)

(5) 概 要

フォーラム冒頭で、石井佳治福井県出納長、河瀬一治敦賀市長、近藤駿介原子力委員長、及び坂田東一文部科学省研究開発局長からご挨拶を頂いた。また J.S. テュレンコ米国原子力学会次期会長から新型転換炉「ふげん」に対し、長年の運転実績を通して原子力の平和利用のための先駆的かつ優れた功績を残した施設に贈られる米国原子力学会「ランドマーク賞」が、授与されたことの紹介を受けた。

基調講演として、茅陽一地球環境産業技術研究機構副理事長からエネルギー基本計画での原子力の位置付けについて、また特別講演として、岸輝雄物質材料研究機構理事長から科学技術基本計画における「エネルギー開発の重要性」を講演いただき、フォーラム全体の方向性、主題を、明確にした。

セッション では、はじめに、日本、米国、フランス、英国、中国の代表から各国のエネルギー政策の現状と展望について、世界的かつ幅広い視点からの講演を受けた（中国は座長から紹介）。後続のパネル討論においては各国の役割や国際協力の重要性及び「もんじゅ」への期待にも言及された。この議論を通し、新しい流れとして、高速増殖炉がエネルギー問題と廃棄物の問題を同時に解決できる可能性を持っていることへの期待が示唆された。

セッション では、OECD/NEA、米国、フランス、英国、韓国、ロシア及びサイクル機構の代表から各国の高速炉・次世代型炉の開発計画や開発状況の講演を受け、その中で国際的研究開発の中核施設としての「もんじゅ」への期待が各国より述べられた。パネル討論でも、各国からあらためて「もんじゅ」への期待が述べられ、その国際的利用のあり方について討論された。「もんじゅ」が世界から注目され、利用価値の高い施設であることが再認識された。

セッション では、地元自治体、地元経済界、地元一般市民、地元電力、地元大学、及びサイクル機構の代表が、「元気な福井への貢献」をサブテーマとして、原子力技術の地域への貢献、それがもたらす地域発展の可能性について、具体的な提案と議論が行われた。「地元・地域と共に歩み」、「新たな信頼への創造」、「元気な福井への貢献」を目指すことの重要性があらためて確認された。

フォーラムのプレセッションとして、「原子力熱中塾」を開催した。地元の中学生 20 名、高校生 35 名、短期大学生 18 名のほか一般市民 54 名がフォーラムで講演する国内外の専門家、サイクル機構の技術者及び広報チーム「あっぷる」のメンバーと各国のエネルギー事情、原子力発電の将来、原子力発電所の安全性、エネルギーに関する教育、放射性廃棄物の処理・処分など幅広い分野について意見交換を行った。熱中塾後のアンケートで「原子力は思っていたよりも安全だと感じた」との感想を書いた参加者が多数見られた。

会場内で「地域との連携」に関するポスターセッションを開催し、サイクル機構のほか、福井大学、敦賀商工会議所、日本原子力発電(株)にも協力を頂き出展した。

なお、以下のホームページでフォーラムの内容を紹介している。

<http://www.jnc.go.jp/zturuga/tief/2004/index.html>

以 上

第4回敦賀国際エネルギーフォーラム 会議プログラム

4月26日(月)

10:30 **原子力熱中塾** 一般参加者の方々との意見交換

13:00 **主催者挨拶**

殿塚 猷一 核燃料サイクル開発機構 理事長
木村 逸郎 第4回敦賀国際エネルギーフォーラム運営委員長
(原子力安全システム研究所 技術システム研究所長)

来賓ご挨拶

石井 佳治 福井県 出納長, 若狭湾エネルギー研究センター理事長
河瀬 一治 敦賀市 市長
近藤 駿介 原子力委員会 委員長
坂田 東一 文部科学省 研究開発局 局長(代読)
J.S. テュレンコ 米国原子力学会(ANS)副会長/次期会長

基調講演・特別講演

13:30 **基調講演**

『21世紀のエネルギー政策について』

茅 陽一(財団法人地球環境産業技術研究機構 副理事長, 東京大学名誉教授)

14:10 **特別講演**

『科学技術開発の重要性と人材育成』

岸 輝雄(独立行政法人物質・材料研究機構 理事長, 日本学術会議 副会長, 東京大学名誉教授)

14:50 **休憩**

15:05 **セッション 『21世紀における各国のエネルギー政策と役割』**

【座長: 神田 啓治(エネルギー政策研究所 所長, 京都大学名誉教授)】

講演「各国におけるエネルギー政策の展望」

・「日本のエネルギー政策と原子力の役割について」

神田 啓治(エネルギー政策研究所 所長, 京都大学名誉教授)

・「合衆国におけるエネルギー政策の展望」

K.O. パサメトグル(米国ロスアラモス国立研究所(LANL)AFCI(先進的燃料サイクル・イニシアチブ)プログラム、燃料部門開発テクニカル・ディレクター)

・「21世紀のエネルギーにおけるフランスの展望、政策、役割及び国際協力」

P. ベルナル(仏国原子力庁(CEA)原子力開発局 原子力技術開発本部 本部長)

・「英国におけるエネルギー政策の展望と『もんじゅ』への期待」

S.E. イオン(英国原子燃料会社(BNFL)執行役員, 英国原子力学会次期理事長)

・「中国における高速炉の現状と将来の開発計画」

趙 志祥(中国原子能科学研究院(CIAE)院長)

16:50 **休憩**

17:00 **パネル討論**

パネリスト

K.O. パサメトグル(米国ロスアラモス国立研究所(LANL)AFCI(先進的燃料サイクル・イニシアチブ)プログラム、燃料部門開発テクニカル・ディレクター)

P. ベルナル(仏国原子力庁(CEA)原子力開発局 原子力技術開発本部 本部長)

S.E. イオン(英国原子燃料会社(BNFL)執行役員, 英国原子力学会次期理事長)

岸本 洋一郎(核燃料サイクル開発機構 副理事長 敦賀本部 本部長)

4月27日(火)

9:00 セッション 『高速炉開発における「もんじゅ」の国際的利用』

【座長：関村 直人 (東京大学大学院 教授)】

講演 『「もんじゅ」への期待』

・「FBR 開発における『もんじゅ』の役割」

柳澤 務 (核燃料サイクル開発機構 理事 敦賀本部 本部長代理)

・「国際的研究施設としてのもんじゅ」

T. デュジャルダン (OECD/NEA 科学・開発担当次長)

・「GEN- への取り組みと『もんじゅ』への期待」

J.S. テュレンコ (米国原子力学会(ANS)副会長/次期会長)

9:50 休憩

10:00 ・「高速炉及び燃料サイクル開発における「もんじゅ」の国際的利用」

P. ベルナル (仏国原子力庁(CEA)原子力開発局 原子力技術開発本部 本部長)

・「韓国における高速炉技術開発計画と「もんじゅ」への期待」

M.H. チャン (韓国原子力研究所 新型炉技術開発團 團長)

・「ロシアにおけるナトリウム冷却型高速炉の開発状況と「もんじゅ」への期待」

A. ツイクノフ (露国物理・動力工学研究所(IPPE)原子力科学研究部 次長)

・「高速炉開発における「もんじゅ」の国際利用」

三島 嘉一郎 (京都大学大学院 教授)

11:00 休憩

11:10 パネル討論

パネリスト

T. デュジャルダン (OECD/NEA 科学・開発担当次長)

J.S. テュレンコ (米国原子力学会(ANS)副会長/次期会長)

P. ベルナル (仏国原子力庁(CEA)原子力開発局 原子力技術開発本部 本部長)

M.H. チャン (韓国原子力研究所 新型炉技術開発團 團長)

A. ツイクノフ (露国物理・動力工学研究所(IPPE)原子力科学研究部 次長)

三島 嘉一郎 (京都大学 教授)

柳澤 務 (核燃料サイクル開発機構 理事 敦賀本部 本部長代理)

12:10 昼食

13:10 セッション 『地域の技術発展を目指して』

「元気な福井」への貢献

【座長：近藤 道也 (財団法人若狭湾エネルギー研究センター 前所長)】

パネリスト

奥村 薫 (敦賀市 企画部長)

河原 はつ子 (福井県連合婦人会 会長)

清川 肇 (清川メッキ工業株式会社 専務取締役)

来馬 克美 (福井県 総務部 企画幹(エネルギー研究開発拠点))

鶴田 静男 (日本原子力発電株式会社 福井事務所 所長)

中村 秀男 (敦賀商工会議所 専務理事)

福井 卓雄 (福井大学 教授)

石橋 達郎 (核燃料サイクル開発機構 敦賀本部 副本部長)

15:40 閉会の辞

木阪 崇司 (核燃料サイクル開発機構 副理事長)